



徳島県立中央病院 患者支援センター
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3
<http://www.tph.gr.jp/>

電話 088(631)7151
FAX 0120(631)715
mail: chiiki@tph.gr.jp

低侵襲心臓手術「MICS」について

心臓血管外科 加納正志

近年、様々な分野において低侵襲治療が行われるようになってきました。心臓血管外科領域でもそのような取り組みが行われ、人工心肺を用いないで行う冠動脈バイパス手術（オフポンプバイパス）やステントグラフトによる大動脈手術は、現在ではごく一般的な手術として行われています。

これに対し人工心肺を必要とする心内手術（弁膜症手術、腫瘍切除）や不整脈手術は、従来からの胸骨正中切開(図1)によるアプローチが一般的な方法です。人工心肺の装着や手術視野を得る上で最もよい方法ですが、胸骨を縦切開しなければならないため骨が接着するまでの一定期間、車の運転や重い物を持たない等の生活制限がかかります。また胸骨離開や縦隔炎発症のリスクなども伴います。

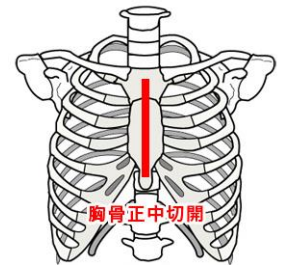


図1

そこで1990年代には、胸骨部分切開や肋間アプローチが試みられるようになりました。そうした心臓手術を総称してMICS（Minimally Invasive Cardiac Surgery）と呼びます。当初は、特化した手術器具がなく手術難易度も高いため一時的なブームで衰退してしまいましたが、手術器具の改良や手技の定型化により約10年前より再び広まりつつあります。そして最近では、小切開による肋間アプローチの心臓手術を主としてMICSと呼んでいます(図2)。

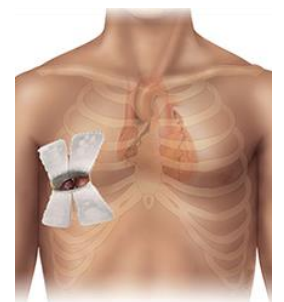


図2

この手術の利点としては、①傷が小さいため目立たない、②傷の痛み（個人差はありますが）の軽減、③術後胸骨離開、縦隔炎の回避、④出血・輸血量の減少等が挙げられます。そしてなにより術後の回復が早く、早期退院・早期社会復帰が期待できるため、農作業のような肉体労働従事者やタクシー運転手には非常に利点のある手術です。

一方、欠点として、①手術難易度が高くなる事による手術時間、心停止・人工心肺時間の延長、②人工心肺アクセスのトラブル、③下肢動脈からの逆行性送血による脳梗塞のリスク増、④合併症が生じた際の迅速な対応が困難、⑤再膨張性肺水腫（原因は不明ですが長時間の手術に生じやすいと言われています）などの問題点もあります。

こうした手術を行うべく、他施設での手術研修や新たな手術器具を導入し、当院でも2017年からMICS手術を開始しました。現在までに3名に対し手術（大動脈弁置換、左房粘液腫摘出、僧帽弁形成術）を試みました。すべての心臓手術がこの方法にとってかわるものではありませんが、ある一定の条件を満たした心臓弁膜症や心房中隔欠損症、心房腫瘍などの患者様においては非常に利点のある手術です。適用があれば今後も実施していきたいと思っていますので、ご興味のある方がいらっしゃいましたら是非ご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしくお願い致します。

E-ナース院内研修のお知らせ



① 『転倒・転落を防ぎつつ、ADLの向上をチームで目指す』

講師：玉木 彰 氏（兵庫医療大学大学院 医療科学研究科リハビリテーション科学教授）

日時：平成30年9月19日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

② 『リハビリテーションにおける栄養管理』

講師：若林 秀隆 氏（横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科診療講師）

日時：平成30年10月3日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

① 『心電図について』

担当：集中ケア認定看護師 殿谷淳子

日時：平成30年9月14日（金）17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

② 『小児の症例検討 実際の看護ケアを振り返る』

担当：小児救急看護認定看護師 諏訪知穂 ・ 新生児集中ケア認定看護師 小川美和

日時：平成30年9月28日（金）17:45～18:45

場所：当院3階 講堂

③ 『薬剤耐性菌と予防策 小児新生児領域の呼吸器グラフィックモニター』

担当：感染管理認定看護師 高野奈央美 ・ 新生児集中ケア認定看護師 小川美和

日時：平成30年10月2日（火）17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

④ 『認知症とその症状と対応』

担当：集中ケア認定看護師 谷藤久美

日時：平成30年10月12日（金）17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局教育担当 佐藤

がん相談支援センターのご紹介

当院のがん相談支援センター（患者支援センター内）では、がんに関する悩み事や不安について、専門の相談員が相談支援を行っております。院内外問わず、地域の医療機関の皆様からのご相談もお受けしております。

お気軽にご連絡ください。

以下のようなご相談に対応しております。

- ・がんの治療に関する一般的な情報が知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・アピアランスケアを受けたい・知りたい
- ・他のがん患者さんと話をしてみたい
- ・がん治療をしながら、仕事を続けていけるか不安 など

窓口：当院1階 総合案内 **がん相談支援センター（患者支援センター）**

TEL：088-631-7151（内線：5225）



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL

《報告》

皆様のおかげをもちまして、

平成30年6月は、**地域医療支援病院**

紹介率 87.2% 逆紹介率 179.4% でした。

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願い申し上げます。